

## 令和3年度 学校経営計画（静岡県立吉田特別支援学校 駿遠分教室）

### 1 教育理念 「つながり合い、学び合う」

- ・すべての人が地域の中で自分らしく、つながり合う共生社会の推進に貢献する学校
- ・一人一人の人権・個性を尊重し、自立と社会参加を目指し、仲間と共に学び合える学校

### 2 学校教育目標 「夢に向かって『いきいき、なかよく、すこやかに』学び、伸びゆく人」

- ・児童生徒一人一人が、自分の「夢や目標に向かって」取り組む姿を大切にする。
- ・学校生活のあらゆる場面で、児童生徒が、「いきいき（主体）・なかよく（かかわり）・すこやかに（健康）」取り組む姿を目指す。

### 3 目標具現化の柱

- (1) 【安全・安心】 児童生徒が安全に安心して生活し、活動できる教育環境の整備  
大規模災害等に備える危機管理体制の再確認と情報共有
- (2) 【授業】 新学習指導要領を踏まえた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ  
児童生徒が自分の目標に向かって「いきいき・なかよく・すこやかに」学び伸びゆく授業改善  
自立と社会参加に向けたつながりある指導の充実
- (3) 【連携】 つながり合う関係づくりを目指した地域・学校・家庭の連携強化

### 4 目指す教職員像

- (1) 児童生徒にとって 明るい笑顔で寄り添い、できることを増やしてくれる教職員
- (2) 保護者にとって 子どもたちが安心して学校に通え、成長を促してくれる教職員  
相談や要望に丁寧に対応し、必要な情報を提供してくれる教職員
- (3) 地域にとって いつでも明るく子どもと地域をつなぐ教職員

### 5 本年度の取組

※重点目標はゴシック体で記載、【 】内はキーワード

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安 全 ・ 安 心	<b>児童生徒が安全に安心して生活し、活動できる環境の整備</b> 【教育環境の整備】 【健康管理体制の強化】	危険予知の視点から安全点検を行うことやヒヤリハットの情報を自分事と捉えるよう呼びかけ、安全で安心して活動できる環境整備・改善を行う。	・重大事故発生 0件 ・月1回の安全点検と環境整備の実施 ・ヒヤリハットの速やかな周知と危険予知トレーニングの実施（ 回）	防災課 保健食育課 各学部
		「新しい生活様式」に基づいた衛生的な環境の整備と対応の周知・実践	・毎朝の健康状態の確認 ・「感染症防止対策・指導に取り組んでいる」と答える教職員 100%	保健食育課 体育課 各学部
	自他を尊重する心情と互いに認め合う態度や人権感覚の向上 【人権感覚の更なる向上】	人権に関する研修会（年2回）と定期的な人権チェック（年5回）を実施し、更に教職員個々の人権感覚を高める。 「互いの良さを認め合える児童生徒」の育成を目指した人権教育、道徳教育を実践する。	・「人権チェックシート」の項目を常に意識して指導ができた」と答える教職員 100% ・「児童生徒が互いの良さを認め合う環境づくりができた」と答える教職員 100%	生徒指導課 人権道徳教育推進委員会 各学部
	<b>大規模災害等に備える危機管理体制の再確認と情報共有</b> 【学校安全の強化】	多様な災害を想定してマニュアルを更新し、訓練を行う。 職員会議で、毎回危機管理マニュアルを確認する時間を設ける。	・「危機管理体制とマニュアルを確認し、対応への理解が深まった」と答える教職員 100%	防災課 教頭 生徒指導課 保健食育課 情報課
	教育公務員としての倫理観の向上 【不祥事根絶】	不祥事（情報漏洩、交通事犯、会計処理等）「0」を目指し、計画に沿った研修と日々の呼びかけを実施する。 必然性の裏付けある予算執行	・個人情報紛失0件、交通加害事故・交通事犯0件 ・「教育公務員であることを自覚して行動している」と答える教員 100%	職員安全衛生委員会 情報課
教職員が働きやすい職場になるための業務改善と明るい職場づくり 【業務改善と明るい職場づくり】	少人数での学校運営からくる職員の負担感が軽減するよう業務の効率化と精選、協働、事務処理時間の確保を図る。	・「職員の業務改善と明るい職場づくりへの意識が高まり、働きやすくなった」と答える教職員 90%	職員安全衛生委員会	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
イ 授 業	自立活動6区分 27 項目を活用した実態把握と個別の教育支援計画・個別の指導計画の実施状況の評価と改善 【カリキュラム・マネジメント】	教育課程検討委員会を定期的に開催する。 自立活動を活用した実態把握の仕方、個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成やスケジュール、内容について検討し、共通理解を図る。	・「自立活動6区分 27 項目を意識して個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成することができた」と答える教員 90% ・「個別の指導計画の内容について理解できた」と答えた保護者 90%	教育課程検討委員会 各学部
	<b>新学習指導要領を踏まえた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ</b> <b>児童生徒が自分の目標に向かって「いきいき・なかよく・すこやかに」学び伸びゆく授業改善</b> ICTの積極的活用 【資質・能力の育成を目指した授業改善】 【専門性の向上】	「深い学び」「各教科等の見方・考え方」について職員研修をし、共通理解をして授業づくりに取り入れる。 アプリやICT教育の参考事例等の紹介と危機管理を徹底する。	・「深い学びと各教科等の見方・考え方への理解が高まり授業づくりに取り入れた」と答える教員 90% ・「ICT 教育への理解が向上し、学習で ICT の活用が増えた」と答える教員 80%	研修課 研修推進委員会 情報課
	ICTの積極的活用 【資質・能力の育成を目指した授業改善】 【専門性の向上】	児童生徒一人一人の育成を目指す資質能力（目標）に対する支援をし、深い学びの姿を見取りながら「何ができるようになったか」目標に準拠した評価をする。	・授業研究 各学部 2 回実施 ・「児童生徒の確かな成長（資質能力の向上・目標達成）につながる授業づくりができた」と答える教員 90%	研修課 研修推進委員会 各学部
	スポーツへの興味・関心と体力の向上 【体力向上の推進】	体育指導一覧表に基づいて年間指導計画を立て、個々や集団の実態に合った授業を実践する。 児童生徒が楽しく運動に親しめる授業づくりをする。	・「体育の授業が楽しい・好き」と答える児童生徒 80% ・「児童生徒の体力の向上が実感できる」と答える教員 90%	体育課
	<b>自立と社会参加に向けたつながりある指導の充実</b> 【キャリア教育の推進】	身近処理（保健指導を含む）、清掃指導の資料を配付したり研修を行ったりし、指導の充実を図る。	・「身近処理や清掃活動に関する個々の目標を共通理解して取り組み、達成することができた」と答える教員 90%	校内支援委員会 各学部 保健食育課
ウ 連 携	<b>つながり合う関係づくりを目指した地域・学校・関係機関・家庭との連携強化</b> 【センター的機能の充実】 【連携・協働の充実】 【共生社会への取組】	併設施設との日々の連絡を細やかに行うとともに、地域・関係機関・保護者等からの相談や要望等に丁寧に対応し、情報を共有して指導に生かす。	・「教育活動の中で、地域や関係機関、家庭とのつながりを生かすことができた」と答える教員 90%	教務図書課 コーディネーター 各学部
		長年積み上げたつながりや地域資源を大切にしつつ、社会の状況に応じた交流や児童生徒の実態に応じた地域に役に立つ活動を行う。	・学校間交流や地域資源を活用した学習の実施 12 回以上 ・「地域と児童生徒のつながりや役立ち方を考えて働きかけができた」と答える教職員 90%	各学部 コーディネーター 生徒指導課
	個人情報保護に配慮した積極的な情報発信 【外部への理解啓発】	児童生徒の作品や日頃の学習活動の様子を、外部へ積極的に発信する。	・ホームページ掲載、回覧板・ポスターによる教育活動の紹介 12 回以上 ・ホームページによる作品紹介と校外作品展への出品 5 回以上	情報課 図工・美術部